

つる植物を用いた壁面緑化（ヘデラ登ハンシステム） 管理者向け メンテナンス手引き

Ver1.1

壁面緑化をきれいに維持するには、メンテナンスが重要です。
メンテナンスを行わないと景観が損なわれ、その価値を低下させてしまうことがあります。

◆ 整枝剪定・誘引結束

はみ出したつる植物は、補助資材（ツルパワーパネル）に誘引結束、もしくは剪定してください。

※推奨誘引結束材『ツルサポートテープ』

剪定位置：右図参照

剪定適期：盛夏（7～8月）を除いた期間

ビグノニアやカロライナジャスミンなどは、花が終わった後（5～6月）が最適です。

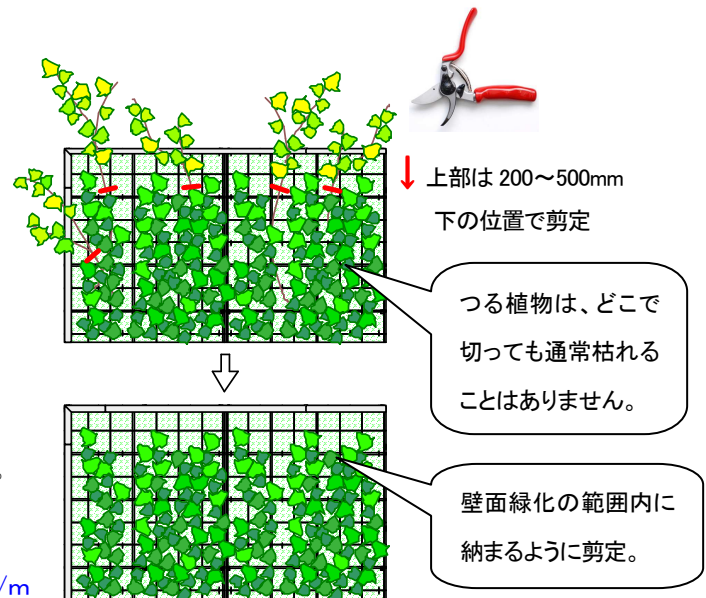
◆ 施肥（追肥）

肥料不足の症状：葉色が淡く、新芽の生長が鈍くなります。

施肥の最適期：春

※推奨肥料『ハイコントロール650 700タイプ』（20kg入）

施肥量：生長段階＝150～200g/m、全面被覆後＝50～100g/m
土壌に攪拌するとより効果的です。



◆ 自動灌水設備の点検・設定切替え

コントローラの設定切替え：

季節や植物の被覆状況に応じて灌水頻度や時間を調整

※年間タイマー式の場合も、植物の被覆状況に応じて灌水量を調整してください。

※乾電池式の場合は、定期的に電池交換が必要です。

定期点検・清掃：

※灌水チューブや配管の目詰まり・水漏れをチェック

※ストレーナ（フィルター）の清掃

◆ 散水（自動灌水を設置していない場合）

作業時間帯：早朝

作業方法：植栽部分にホースなどで十分に散水

散水のタイミング：

※自然地盤（地面）で降雨が当たる場所

夏季で10日以上、冬季で2週間以上降雨がない場合

※プランター等の人工地盤や降雨が当たらない場所
土壌の表面が乾いたら随時

◆ 除草（雑草除去）

雑草が発生した場合は、適宜除草を行なってください。

（雑草の発生が著しい場合には、土壌表面にマルチングを行なうことで作業を省力化できます。）

◆ 病虫害対策（消毒）

生育環境の悪化や樹勢が衰退すると発生する場合があります。（一般的に病虫害に強い樹種を推奨しています。）

集客施設などでは、予防措置として計画的に薬剤散布による消毒をおすすめします。

病虫害の種類や状況によっては専門業者による対処が必要です。

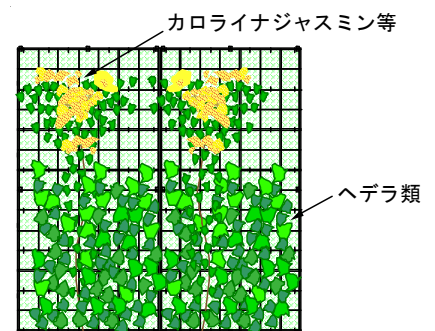
◆ その他留意事項

※カロライナジャスミン等の巻つる型植物を植栽し、数年後に下部の枝葉が少なく枯れ上がりが目立つ場合は、剪定回数を増やしてください。

※補助資材は、取付金具を中心に、緩みやずれ、腐食等を定期的に点検してください。（通常外れることはありません。）

※補助資材（ツルパワーパネル）の登ハンマットは、植物が被覆せずに紫外線が当たり続けると5年程度で劣化する場合がありますので、5年以内に全面緑化されるようメンテナンス計画を立ててください。

（登ハンマットは、付着型つる植物を登はんさせるための仮設的な部材です。）



つる植物を用いた壁面緑化（ヘデラ登ハンシステム） 管理者向け メンテナンス手引き 年間メンテナンスのスケジュール例

① プランター等の人工地盤に植栽した事例

（設置場所の条件、樹種、被覆状況により異なります）

作業内容	月												備考
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
定期巡回・点検													適宜 ※1
整枝剪定・誘引						△			△			○	※1
施肥（追肥）			○										
除草・清掃			△			△			△			△	
病虫害対策（消毒）			△			△			△				
灌水設備の点検 コントローラ設定切替え			○			○			○			○	※2
灌水頻度（回/週）	2回		3～4回			4～7回			3～4回		2回		※3
排水溝・ドレンの 点検・清掃			○			○			○			○	

○：実施作業 △：必要な場合のみ作業

※1：壁面の高さや条件によっては、高所作業車等が必要です。

※2：ストレーナの清掃を年1～2回実施、コントローラが電池式の場合は電池交換を実施してください。
コントローラが年間タイマー式の場合も、植物の被覆状況に応じて灌水量の調整を行なってください。
寒冷地では、冬季は配管内の水を抜いておく必要があります。

※3：壁面緑化面積1㎡当たりの1回の灌水量の目安 南面・西面＝2～3リットル、東面・北面＝1～1.5リットル

※：長期管理においては、植栽基盤内の根切り及び土の入替え、灌水チューブの交換等を数年に1回実施

② 自然地盤（地面）に植栽した事例（降雨が当たる場合）

（設置場所の条件、樹種、被覆状況により異なります）

作業内容	月												備考
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
定期巡回・点検													適宜 ※1
整枝剪定・誘引						△			△			○	※1
施肥（追肥）			△										※4
除草・清掃			△			△			△			△	
病虫害対策（消毒）			△			△			△				
散水（無降雨日数が右記 の期間続いた場合）	15～20日		10～15日			7～10日			10～15日		15～20日		※5

○：実施作業 △：必要な場合のみ作業

※1：壁面の高さや条件によっては、高所作業車等が必要です。

※4：施肥は、葉色が淡く、生長が鈍くなってきたときに実施してください。

※5：散水設備がない場所では、散水車やタンク等が必要です。

※：降雨が当たらない場合は、上表「① プランター等の人工地盤に植栽した事例」を参照してください。

※ 上記のスケジュールは一例ですので、設置場所の条件、樹種に応じてご検討願います。
また植物の被覆・生育状況に応じて、メンテナンス計画は変更してください。